

## 丸池の里わくわく村

東京都三鷹市

### 【活動概要・効果】

#### ☆市民自らが創造した自然あふれる公園での活動

○自らワークショップによるプランづくりを行った「新川丸池公園」の運営・管理・イベント開催などを自主的に行い、地域の自然環境保全・再生、主に子ども達を対象にした自然体験事業、近隣の小学校との協力などを行っている。

☆毎月2回の清掃、梅林の管理を継続して行うとともに、地域のまつりや公園の豊かな自然環境を活かした地域学習、環境教育の場としても活用され、様々な活動が地域住民により自立的に行われ、地域のつながりが強化されている。子供たちを対象とした様々なイベントは、核家族化により希薄となった地域の大人と子どものつながりを再生している。

☆近隣小学校の総合学習には、講師派遣、現地見学などで協力している。また、公園内に水田を整備し、地域の原風景を再現するとともに、近隣小学生とともに作業を行うことで、子供たちに水田作業体験の場を提供している。



公園内での水田作業体験

#### 《人員確保での工夫・苦労》

自分達がつくり上げた公園という自負と愛着はあるものの、中核となる人材が高齢化し、その人数も十分とはいえません。しかし、継続的に近隣の小学校・PTA、中学校、住民協議会、町会・自治会、三鷹市、(株)まちづくり三鷹などの理解と協力をいただいております。先行きは期待できます。年間計画に基づき一つひとつ着実に活動するなかで、無理なく中心になる人材を集め、育てていく方向を旨としています。

#### 《活動資金確保での工夫・苦労》

活動資金については、わくわくまつりなどの売り上げもあり、比較的順調に確保できています。しかし、年々活動規模が拡大するなかで、新たな財源を見つける努力が必要と感じています。目標の設定、作業の段取り、備品の調達、実際の活動など、全て自主的に行なっており、その他に必要な公園の清掃用品などについては市から提供を受け、その他の援助については(株)まちづくり三鷹より支援を受けています。

#### 【現場の声】

早朝清掃は毎月第2・第4土曜日、その他のイベントは随時ですが、平均すると月1～2回、上記の清掃活動以外のイベントを行っています。清掃は、悪天候による中止以外はイベントと重なる場合も行っており、意思疎通、情報交換の場としても重要な役割を果たしています。

運営に関する決定は幹事会でを行っています。幹事会は定例と臨時があり、年間平均月2回程度開催されています。

公園設計のワークショップから始まった12年に及ぶ活動ですが、一貫して地域を重視し、こどもと高齢者に配慮した活動を心がけています。

また、自然体による運営、活動を楽しむ村民の姿勢、リーダーの率先垂範などは伝統的な活動スタイルとして受け継がれています。

～丸池の里わくわく村  
海老沢 国利さん



地域学習・環境学習の場「丸池ツアー」